

事務事業 No./名称	■サービス部門 環境-23 今泉クリーンセンター処理事業				ザイムスコード及び個別事業名		
	□支援部門				1172	今泉CC処理事業	
主管課	今泉クリーンセンター		関連課 環境部内各課				
分野名	生活環境						
目標 (目標値)	収集されたごみを適正に処理する。 適正な処理100%						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考			
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源 状況	収集対象人口	73,174人	72,849人				
	決算値	195,818千円	179,464千円				
	(国・県)						
	(負担金等)	38,820千円	37,809千円				
	(一般財源)	156,998千円	141,655千円				
	人員配置数	7.2人	7.2人				
	人件費	66,737千円	67,510千円				
協働の パートナー							
事務事業 運営経費	総事業費	262,555千円	246,974千円				
	市民1人当 りの経費	1,486円	1,399円				
	対象者1人 当りの経費	3,588円	3,390円				
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名						
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・施設の老朽化が進んでいるため、維持管理と運転管理については安全で良好な状況を保つとともに、近隣住民に運転状況等の情報、環境調査等の結果を継続して提供する必要がある。					
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・良好な維持管理を行う際、市職員と運転管理を委託している事業者との情報を共有するために、毎日の始業時にミーティングを行い、定例協議会を実施している。また、市と近隣3町内会との相互理解を図るために「今泉クリーンセンター連絡協議会」を設置、管理・運営について情報を提供している。					
	未解決の 課題・問題 点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・なし					
	今後の方 針(対応・ 改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・今泉クリーンセンター連絡協議会で施設の状況、周辺環境調査結果などを定期的に報告を行うとともに、山崎浄化センターバイオマスエネルギー回収施設の整備の動向を踏まえながら市民の理解と協力の下、施設の適切な維持管理に努めていく。					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性	住民協定による焼却廃止時期の延長が求められる。このことから、今後の焼却スケジュールに沿った施設維持管理に努めていく。			評価結果	改善の必要性	
B	無				B	無	
課長名		石井 貞雄			環境部 相澤 千香子		

指標と評価		
指標	各種規制基準の遵守	
評価	◎	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	目標値	実績値

	20年度	100%	100%
	21年度	100%	100%
	22年度	100%	
	23年度	100%	
	最終年度 (25年度)	100%	